



会員そして取引先の皆様におかれましては、昨年中は大変お世話になりました。心から感謝申し上げる次第で御座います。私は昨年の総会より理事長職を退任し、新たに顧問として初めての新年を迎えました。

近況を少々お話しさせて頂きますと、施設での生活もすっかり慣れて来て、日々ハビリに又施設内での様々なイベントにと、積極的に参加して楽しんでる次第で御座います。最近では俳句を嗜み始め、すっかりハマっておる次第です。かつての私には到底考えられない日々を送っております。駄作ばかりではありますが何かの機会にご紹介させて頂きたいとも思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

顧問 田嶋 享



今年の課題 高齢者支援

昨年後半明らかになってきた

課題は、年金だけで生活する高齢者の支援です。国の制度からこぼれ落ちる、基礎年金だけに頼る高齢者の生活困窮者への食品支援です。その背景は、

1、急激な物価の値上がりです。

石油・天然ガス等のエネルギー価格や小麦・トウモロコシ等の穀物価格の高騰です。そして、日本

に関しては、円安による輸入価格の高騰も加わり、すべての商品が値上がりしています。さらには本年四月の値上げも発表されています。

2、少子高齢化により、高齢者の自己負担が増えています。政府の方針で、給料を上げる方向で経済界に働きかけていますが、高齢者の給付は減り、経済的負担は増える一方です。

いずれにしても、まだまだ「コロナは収まる様子はありません。その上、物価高騰です。

皆様のご理解・ご支援で、これからも生活困窮者への支援活動を続けてまいります。

お惣菜配布

昨年から始めた「お惣菜」が好評です。スーパーの総菜売り場で販売されるアジのフライ、海老の天ぷら



、かき揚げ等は意外にも海外で生産され、冷凍状態で輸入されます。輸入された時の検疫検査でサンプルが抜き取られた後の品物や、輸送中に箱が傷んだ物などが我々に提供されます。中身は全く問題ありません。

いただいた品物を見て、どう配ろうかと考えた時、お惣菜として調理して配る事を思いつきました。平塚で子ども食堂を運営されている小野さんが、いろいろな惣菜を作って、格安で近所の団地の高齢者に販売されている事を知っていたからです。

試みに「アジのフライ」「白菜と豚肉のあんかけ煮」などを作って、芦ノ湖畔で高齢者の方々に配

布したら、すぐに配り切ってしまいました。ひとり暮らしの高齢の方は、手の込んだ料理は作らないのですね。懐かしいお袋の味に喜ばれました。お年寄りにだけでなく、ひとり親支援の配布会でも、子どもの人数に合わせたお惣菜セットを用意したら、これも好評でした。



これから食事の主食となるお惣菜を徐々に拡げて行きたいと思えます。これからは、緊急支援的な食品だけでなく、食事の喜びが感じられる食品の提供を拡げていくつもりです。

いよいよ始まる

前回弊誌でご紹介した商社丸紅様様の基金を財源とした改修工事がいよいよスタートいたしました。一月三十日より工事が始まりました。

工事中は、関係者各位には大変ご迷惑をおかけいたしますが何卒ご協力をお願いいたします。



時代の変化に対応したセンターの事務所兼倉庫、そして食堂の機能も兼ねた設備に大変身する予定です。皆様どうかご期待ください！

編集後記

新年早々の会報誌の発刊がPC不具合により遅れましたこと、お詫び申し上げます。

スタッフ一同、ウサギのように飛躍できるよう今年も頑張りますのでよろしくお願い致します。

2023年1月31日(火)報徳食品支援センターニュースレター「報徳@なう」1月号(30号)